

看護管理の実力をつける マインド・スキル・ツールメソッド

マネジメントスキル・ワークショップの展開から1年が経過し、各施設・個人が組織のなかで具体的に看護管理として、実務に沿ったマネジメントに自信と成果を得たという報告が寄せられている。本稿では、看護界で必要とされるマネジメントスキルを身につける M-S-T メソッドの展開を紹介する。

さらに、1年間の実績から施設・看護部・主任等の実務としての変容、これからの日本の看護管理者が自信をもち、元気に活動できる「実力を身につける」ノウハウを解説し、実例を報告する。

臨床看護のなかでのマネジメントスキルとは何か 嶋森好子	1008
M-S-T メソッドの考え方 実践で成果を出せる力をつける研修の手法 高田 誠	1011
マインドの向上による看護部の変容 師長のポジティブ思考を引き出すために 佐々木久美子	1019
論理的思考・情報整理スキルの活用 看護師・看護補助者の清潔ケアに関する情報の整理 松山昌子／黒江三千代	1023
看護師長主任合同研修による目標管理立案の過程 マネジメントツール活用による情報の整理と問題の焦点化 吉川孝子	1030
看護部の組織ぐるみの取り組みの意図 京都大学医学部附属病院の変化 秋山智弥	1035
看護師長・主任が継続的に研修に参加したことで 看護部が動いた 藤田あけみ	1040
病院・看護部・事務局の win-win-win 研修企画と病院・事務局の支援 竹橋美由紀	1045
マネジメントスキルという実力を 身につけるための「か・き・く・け・こ」 山元恵子	1050